

< 編集後記 >

今年の夏は、異常に暑く、台風も記録的な数が上陸しました。毎日の天気予報を見ていると、熱帯低気圧の発生場所が年々日本に近くなっているような気がします。が、気のせいでしょうか？

今月号の表紙には、中京大学の興膳先生にお願いし、ゼミの学生さんの躍動美を追求したCG作品をご提供いただきました。美の追求から生まれた図は、筆者には、これまでのセンターの表紙図とは一味違って見えました。と、同時にコンピューティングの世界の広がりを感じました。

金田先生には、センターも関係する「計算科学フロンティア」プロジェクトについて紹介いただきました。

西村先生、内藤先生には、好評の連載の原稿をいただきました。

西村先生の連載は、とうとう最終回を迎えました。「大型計算機センターニュース」時代からの長期連載、ありがとうございました。

大学が法人化し大きく変化しつつあることと無関係なのですが、センターのシステム構成も大きな変化を迎えることになりました。ようやく調達作業が終了し、ベクトル型の機種から、大規模なスカラー並列機に置き換えられることになりました。センターの石井先生には、機種更新の概略について紹介いただきました。次号に、新システムの具体的な紹介や利用法の掲載を予定しています。

この号が、皆様の手元に届く頃には、気候も平年並みに戻っているのでしょうか？ 猛暑の後の厳冬というのは経験したくないものです。

(A.H.)